

[学習成果]

(リハビリテーション学科)

総合科学科目群および専門基礎科目群の科目履修と単位修得により理学療法、作業療法の専門的知識と技術、態度を備え、専門展開科目群の科目履修と単位習得により生命の尊厳を基盤とした倫理観と心豊かな人間性を身につける。また、臨床実習を通じて地域の保健・医療・福祉の向上に貢献することのできる高い資質と実践能力を持ち、専攻が規定する合計単位数の修得をもって国家試験受験資格を与える。

(理学療法学専攻)

総合科学科目群および専門基礎科目群の科目履修と単位修得により理学療法士として対象者の心身の健康支援ならびに日常生活動作の改善を図る能力を身につけ、さらに、専門展開科目群の科目履修と単位習得により QOL（生活の質）の向上に寄与するための専門的知識と技術、態度を備え、生命の尊厳を基盤とした倫理観と心豊かな人間性を身につける。また、臨床実習により地域の保健・医療・福祉の向上に貢献することのできる高い実践能力を持ち、計 104 単位以上の単位修得をもって理学療法士国家試験受験資格を与える。

(作業療法学専攻)

総合科学科目群と専門基礎科目群の科目を履修し単位修得することを通じて、対象者となる人々にとって目的や価値を持つ生活行為の向上を図り、全人的支援を通じて健康と幸福度を促進し、人生の満足感を高めることに寄与するための専門的知識と技術、態度を身につけ、専門基礎科目群の科目履修と単位修得を通じて生命の尊厳を基盤とした倫理観と心豊かな人間性を身につける。また、臨床実習を通じて地域の保健・医療・福祉の向上に貢献することのできる高い資質と実践能力を持ち、計 102 単位以上の単位修得をもって作業療法士国家試験受験資格を与える。

(看護学科)

一般教養を基礎に看護師としての心、知識、技術を学習して所定の単位数を修得した後、専門分野の学問を習得したのち、短期大学士とすることができることを基本としている。この時、看護学科では総合科学科目群および専門科目（専門支持科目、基幹科目）の科目履修と単位修得により看護師としての専門的知識と技術、態度を備え、展開科目の科目履修と単位習得により生命の尊厳を基盤とした倫理観と心豊かな人間性を身につける。また、臨床実習を通じて地域の保健・医療・福祉の向上に貢献することのできる高い資質と実践能力を持ち、学科が規定する合計単位数の修得をもって国家試験受験資格を与える。

短期大学部の3大ポリシー

学位授与方針（ディプロマポリシー；DP）

本学の学則に定める卒業要件に必要な単位を修得し、卒業までに以下の能力を備えた学習者に「短期大学士」の学位を授与します。

1. 人間（ヒト）に深い関心を持ち、多様な価値観や文化的背景を理解でき、幅広い教養を身につけている。
2. 看護学およびリハビリテーション学について科学的思考に基づく判断力と問題解決能力を身につけている。
3. 卒業後に医療従事者として生涯にわたり研鑽を積み、保健・医療・福祉の分野に貢献できる能力を身につけている。

教育課程編成方針（カリキュラムポリシー；CP）

本学のカリキュラムは看護学科及びリハビリテーション学科のそれぞれの教育理念・教育目標に基づき、基礎から専門・応用へと段階的に学習し、実践的な医療人になるための編成です。基礎的な学習では、「総合科学科目」として社会生活に有用な、幅広い視野と協調性を有した人材の育成を目的とした科目を配置します。さらに、専門科目は「専門支持科目（看護学科）、専門基礎科目（リハビリテーション学科）」として臨床での実践力の基礎となる科目を学習し、ついで専門知識・技能を身に付け、判断力・実践力を持つ専門職業人となるため「基幹科目・展開科目（看護学科）、専門展開科目（リハビリテーション学科）」を配置します。

総合科学科目群

「外国語」「情報科学」「人間と文化」「現代社会と人間」「環境と科学」から構成され、高等学校からの連携教育を図りつつ将来、人間（ヒト）を対象とする職業に就くことを誇りに思い、あらゆる健康状況にある人たちおよび様々な医療専門職者との積極的な連携・協働を可能にする積極性と協調性・コミュニケーション能力を育成する科目群です。

専門支持科目（看護学科）

専門基礎科目（リハビリテーション学科）

「人体の構造と機能」「疾病の成り立ちと回復過程」「保健医療福祉制度」から構成され、生命の尊厳と人権の尊重に基づく倫理観を培い、エビデンスに基づいた技術を展開できる能力を育成する科目群です。

基幹科目・展開科目（看護学科）

専門展開科目（リハビリテーション学科）

リハビリテーション学科では「評価」から「治療」に及ぶ科目を習得し、臨地実習及び臨床実習を通して医療従事者として保健・医療・福祉の現場で生じる問題に対応し、実践的に処理できる能力を育成する科目群です。

以上3種の科目群を通して、国家資格を取得しキャリア形成することを意識し、医療従

事者として地域社会に貢献できる人材を育成するカリキュラム構成です。

入学者受け入れ方針（アドミッションポリシー；AP）

本学は、以下のような資質を備えた人たちを積極的に受け入れます。

1. 対人関係を良好に保つ能力を備えた人。人間(ヒト)に深い関心と畏敬の念を持ち、多様な価値観や文化的背景を理解し、人との出会いを通じて学び合おうとする人。
2. 資格取得に向けた高い意欲を持ち続けられる人。看護学およびリハビリテーション学に対する知的好奇心が旺盛で、課題に向かって主体的に行動できる人。
3. 論理的思考を遂行するための基礎的な学力を備えた人。絶え間なく進歩する医学を理解していくための基礎学力を有し、それらを探求する姿勢のある人。

学科・専攻科の3ポリシー

[学位授与の方針] (ディプロマ・ポリシー)

(リハビリテーション学科)

本学科では、建学の精神と教育理念に基づいて、以下に掲げる知識と技能ならびに態度を身につけ、所定の単位を修得するとともに、それらを総合的に活用してリハビリテーション専門職の責任を果たすことができる者に、短期大学士を授与する。

DP1: 生命に対する尊厳と人間に対する畏敬の念をもち、豊かな人間性のもと、地域および世界の人々と協働するために円滑なコミュニケーションを図ることができる。

DP2: 多種多様なリハビリテーション対象者の支援に必要なかつ十分な基礎および専門的知識を修得し、人々の幸福と健康な生活の実現に貢献することができる。

DP3: 医学・医療の進歩と社会のニーズの変化に対応するため、自己の専門性を発揮し、科学的分析に基づく問題解決能力を磨き、自己実現することができる。

DP4: リハビリテーション対象者やその家族および保健・医療・福祉に関するあらゆる人々と連携し協力することができる。

(理学療法学専攻)

本学の建学の精神と教育理念に基づいて、以下に掲げる知識と技能ならびに態度を身につけ、所定の単位を修得するとともに、それらを総合的に活用してリハビリテーション専門職の責任を果たすことができる者に短期大学士（理学療法学）を授与する。

DP1: 生命に対する尊厳と人間に対する畏敬の念をもち、豊かな人間性のもと、地域および異なる国の人々と協働するために、多様な人々の立場を尊重し、円滑なコミュニケーションを図ることができる。

DP2: 多種多様な理学療法対象者に対する専門的な支援に必要なかつ十分な基礎および専門的知識を修得し、自身が考案する支援について十分に説明する能力を身につけている。それらを通じて、人々の幸福と健康な生活の実現に貢献することができる。

DP3: 医学・医療の進歩と社会のニーズの変化に対応するため、自己の専門性を発揮し、科学的分析に基づく問題解決能力を磨き、心身の両側面から人を支援できる理学療法を創造することができる。

DP4: 理学療法対象者やその家族および保健・医療・福祉に関するあらゆる人々との協働に主体的に参画し、チーム医療や地域包括ケアに貢献することができる。

(作業療法学専攻)

本学の建学の精神と教育理念に基づいて、以下に掲げる知識と技能ならびに態度を身につけ、所定の単位を修得するとともに、それらを総合的に活用してリハビリテーション専門職の責任を果たすことができる者に短期大学士（作業療法学）を授与する。

DP1: 生命に対する尊厳と人間に対する畏敬の念をもち、豊かな人間性のもと、地域お

よび異なる国々の人々と協働するために、多様な人々の立場を尊重し理解することを通じて円滑なコミュニケーションを図ることができる。

DP2: 多種多様な作業療法の実践に必要な基礎および専門的知識を修得している。また、人々にとって目的や価値を持つ生活行為の向上に貢献するために、対象者の生活行為に最も近くから寄り添う視点を持つ専門職としての技術と態度を身につけている。

DP3: 医学・医療の進歩と多様性に基づき、個別的・社会的ニーズの変化に対応するため、作業療法の専門性を発揮し、科学的分析に基づく問題解決能力を身につけている。更に、作業療法に対する探求心と研究心を備えている。

DP4: 作業療法対象者やその家族および保健・医療・福祉に関するあらゆる人々と協働するための専門的知識と技能を身につけている。また、論理的思考により様々な問題を解決できる行動力を身につけている。

(看護学科)

本学の建学の精神を理解し、学則に定める卒業要件に必要な単位を修得し、卒業までに以下の能力を備えた学習者に「短期大学士」の学位を授与する。

DP1: 人間(ヒト)に深い関心を持ち、多様な価値観や文化的背景を理解でき、幅広い教養を身につけている。

DP2: 看護学について科学的思考に基づく判断力と問題解決能力を身につけている。

DP3: 卒業後に医療従事者として生涯にわたり研鑽を積み、保健・医療・福祉の分野に貢献できる能力を身につけている。

[教育課程の編成方針] (カリキュラムポリシー)

(リハビリテーション学科)

建学の精神と教育理念に基づいたディプロマポリシーの実現のため、以下を本学科の教育課程編成の方針とする。

CP1：教育課程は「総合科学科目」と「専門科目」の2科目区分から構成し、専門科目は「専門基礎科目」「専門展開科目」を設置し展開する。

CP2：生命の尊厳や人間への畏敬、他者とのコミュニケーション等の医療人としての基礎的知識と態度の養成のため「人間関係論」「人間と文学」「現代社会と人間」「国際関係論」「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「英語Ⅲ」等を総合科学科目に設置し展開する。

CP3：リハビリテーション学の基礎知識を修得するため、人体の構造と機能については「解剖学」「生理学Ⅰ・Ⅱ」「運動学Ⅰ・Ⅱ」を、疾病や障害の基礎については「病理学」「神経内科学」「整形外科学」を専門基礎科目に設置し展開する。さらに、専門知識と技能を修得するため、理学療法学科、作業療法学科ともに基礎療法学、評価学、治療学を専門展開科目に設置し展開する。

CP4：理学療法や作業療法に関わる専門的かつ最新の技能および態度を修得するため複数の実習科目や、総合理学療法学区分、総合作業療法学区分として「臨床実習」「総合演習」を専門展開科目に設置し展開する。

CP5：多職種連携と協働の理論のもと、行動力と実践力を養うために地域理学療法学区分、地域作業療法学区分を専門展開科目に設置し展開する。

(理学療法学専攻)

CP1：教育課程は「総合科学科目」と「専門科目」の2科目区分から構成し、専門科目は「専門基礎科目」「専門展開科目」を設置し展開する。

CP2：生命の尊厳や人間への畏敬、他者とのコミュニケーション等の医療人としての基礎的知識と態度の養成のため「人間関係論」「人間と文学」「現代社会と人間」「国際関係論」「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「英語Ⅲ」等を総合科学科目に設置し展開する。

CP3：理学療法学の基礎知識を修得するため、人体の構造と機能については「解剖学」「生理学Ⅰ・Ⅱ」「運動学Ⅰ・Ⅱ」等を、疾病や障害の基礎については「病理学」「神経内科学」「整形外科学」等を専門基礎科目に設置し展開する。また、専門知識と技能を修得するため、基礎理学療法学区分に「理学療法概論Ⅰ・Ⅱ」「臨床運動学」を、理学療法評価学区分に「理学療法評価検査・測定実習Ⅰ・Ⅱ」等を、理学療法治療学区分に各領域別治療学と「日常生活活動学」「義肢装具学」「物理療法学」等を専門展開科目に設置し展開する。

CP4：多様化するニーズに対応した心身の両側面を支援する理学療法と問題解決能力に関わる専門的かつ最新の技能および態度を修得するため「運動療法学実習」「物理療法学実習」「日常生活活動実習」や、総合理学療法学区分として「臨床実習」「総合演習」

を専門展開科目に設置し展開する。

CP5：多職種連携と協働の理論のもと、行動力と実践力を養うために地域理学療法学区分には「地域理学療法学」「生活環境学」を専門展開科目に設置し展開する。

(作業療法学専攻)

CP1：教育課程は「総合科学科目」と「専門科目」の2科目区分から構成し、専門科目は「専門基礎科目」「専門展開科目」を設置し展開する。

CP2：生命の尊厳や人間への畏敬、他者とのコミュニケーション等の医療人としての基礎的知識と態度の養成のため「人間関係論」「人間と文学」「現代社会と人間」「国際関係論」「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「英語Ⅲ」等を総合科学科目に設置し展開する。

CP3：作業療法の対象となる人々の理解と支援に必要な基礎知識を修得するため、人体の構造と機能については「解剖学」「生理学Ⅰ・Ⅱ」「運動学Ⅰ・Ⅱ」等を、疾病や障害の基礎については「病理学」「神経内科学」「整形外科学」等を専門基礎科目に設置し展開します。また、対象者にとって価値や目的を持つ生活行為を向上させるための知識と技能及び生活に寄り添う視点を身につけるために、基礎作業療法学区分に「作業療法学概論」「基礎作業療法学」「作業学Ⅰ・Ⅱ」等を、作業療法評価学区分に「作業療法評価検査・測定実習Ⅰ・Ⅱ」等を、作業療法治療学区分に各領域別治療学と「日常生活活動学」「義肢装具学」「作業療法治療学基礎」を専門展開科目に設置し展開する。

CP4：多様化する個別的・社会的ニーズに対応した実践的作業療法と問題解決能力ならびに作業療法への探求心と研究心に関わる専門的かつ最新の技能および態度を修得するため「日常生活活動実習」「装具製作実習」や、総合作業療法学区分として「臨床実習」「総合演習」等を専門展開科目に設置し展開する。

CP5：多職種連携と協働の理論のもと、論理的思考に基づく行動力を養うために地域作業療法学区分には「地域作業療法学」「生活環境学」「リハビリテーション関連機器」を専門展開科目に設置し展開する。

(看護学科)

CP1：本学の看護学科カリキュラムは教育理念・教育目標に基づき、基礎から専門・応用へと段階的に学習し、実践的な医療人になるための編成です。基礎的な学習では、「総合科学科目」として社会生活に有用な、幅広い視野と協調性を有した人材の育成を目的とした科目を配置します。さらに、専門科目は「専門支持科目（看護学科）」として臨床での実践力の基礎となる科目を学習し、ついで専門知識・技能を身につけ、判断力・実践力を持つ専門職業人となるため「基幹科目・展開科目（看護学科）」を配置します。

CP2：総合科学科目群「外国語」「情報科学」「人間と文化」「現代社会と人間」「環境と科学」から構成され、高等学校からの連携教育を図りつつ将来、人間（ヒト）を対象とす

る職業に就くことを誇りに思い、あらゆる健康状況にある人たちおよび様々な医療専門職者との積極的な連携・協働を可能にする積極性と協調性・コミュニケーション能力を育成する科目群です。

CP3: 専門支持科目; 「人体の構造と機能」「疾病の成り立ちと回復過程」「保健医療福祉制度」から構成され、生命の尊厳と人権の尊重に基づく倫理観を培い、エビデンスに基づいた技術を展開できる能力を育成する科目群です。

CP4: 基幹科目・展開科目; 看護学科では「看護の基本」から「統合と実践」に及ぶ科目を習得し、臨地実習及び臨床実習を通して医療従事者として保健・医療・福祉の現場で生じる問題に対応し、実践的に処理できる能力を育成する科目群です。

以上3種の科目群を通して、国家資格を取得しキャリア形成することを意識し、医療従事者として地域社会に貢献できる人材を育成するカリキュラム構成です。

[入学者受入れの方針] (アドミッションポリシー)

(2019年度から看護学科は学生募集を停止しています)

(2021年度からリハビリテーション学科は学生募集を停止します)

(リハビリテーション学科・理学療法学専攻・作業療法学専攻共通)

リハビリテーション学科では、理学療法学専攻、作業療法専攻ともに、以下のような学生を求める。

AP1) 心身ともに自らの健康管理ができる人

AP2) 人の健康を支援することへの関心をもつ人

AP3) 必要な知識・技術の修得に努力し、自己研鑽を継続できる人

AP4) 仲間との協調性をもてる人

AP5) 地域における人々と暮らしに関心を持てる人